

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
事業コード		事務事業名	食品検査強化事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	小中学校・保育園の児童、生徒のために
手 段	給食食材の定期的な検査（農薬・細菌類）を実施することにより
想定する成果	安全で安心な学校給食の提供につながる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
検査項目	細菌数/大腸菌群/〇-157	細菌数/大腸菌群/〇-157/残留農薬	細菌数/大腸菌群/〇-157/残留農薬
検査点数	5 点	6 点	6 点
検査手数料	91,560円	93,555円	100,000円

④成果指標

成果指標名	①						②					
	食材検査結果状況（平成14年）						食材検査結果状況（平成15年）					
成果指標の説明		細菌数	大腸菌群	サルモネラ	0 - 157			細菌数	大腸菌群	サルモネラ	黄色ブドウ球菌	0 - 157
	豆 腐	300以下	陰性		陰性		平蒟蒻	300以下	陰性	陰性	陰性	
	豆腐の漬水	8.0×10 ²	陰性		陰性		蒲郡みかん	1.6×10 ³	陰性			陰性
	平蒟蒻	4.0×10 ²	陰性		陰性		みかん洗浄後	300以下	陰性			
	豚 肉	7.6×10 ⁴		陰性	陰性		もやし	1.4×10 ⁷	陽性			
	ベーコン	保存料検出せず			発色剤検出せず		同上ボイル後	300以下	陰性			
							蒲郡みかん・・・残留農薬検出せず					

⑤事業の進捗状況

		（ 一 般 会 計 ）		(千円)	
		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算	
成果指標	計画				
	実績				
成果指標	計画				
	実績				
事業費	事業費	92	94	158	
	人件費	1,653	1,684	1,671	
	(人数)	0.2	0.2	0.2	
	合計	1,745	1,778	1,829	
財源内訳	国				
	県				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,745	1,778	1,829	

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	毎年予算範囲内で検査を実施している。
経済効率性	3	3	10万円程度の予算で、製造業者及び納入業者の信頼性を確認していくことができ効果がある。
事務効率性	1	1	県給食会への依頼となった場合、豊明市までの届出となり事務ロスがでる。
必 要 性	3	3	食材の安全確認は、必要不可欠なものである。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	公共機関での検査となるが、基準値内の数値での農薬量・細菌数の食材を使用することは、学校給食実施者として最低限のルールである。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・食材の検査にはあたっては、保健所及び県学校給食会で行っているが、見積書を取り、廉価な方をお願いしている。
- ・給食用物資を使用するにあたっては、事前に自主検査票（一般細菌数、大腸菌群）を提出させているが、確認のため使用する食品について、公共機関での検査をして安全を再確認している。
- ・平成7年度から残留農薬の検査を取り入れた。

⑧今後改善すべき点

豆腐、こんにゃくのように水付きの食材では、食材本体だけでなく漬け水も検査の対象としていく必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

2献立の6品調理となり、食材の検査回数及び検査点数を増やす検討が必要。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	給食配送事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	小中学校、保育園の児童、生徒のために
手 段	学校給食の配送・回収を適切に実施することにより、
想定する成果	安全かつ適時・適温の給食の提供を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
給食配送 委託台数	7 台	7 台	9 台
給食配送委託料	44, 170, 500	44, 170, 500	51, 889, 500
1 台単価	6, 310, 071	6, 310, 071	5, 765, 500

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	委託効果(率)	
	1 台単価／市職 1 人単価	

⑤事業の進捗状況

一般会計

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	68. 5%
	実績	76. 4%	74. 9%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	44, 171	44, 171	51, 890
	人件費	1, 653	1, 684	1, 671
	(人数)	0. 2	0. 2	0. 2
	合計	45, 824	45, 855	53, 561
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	45, 824	45, 855	53, 561

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	当市が給食センター方式を採用した時より、配送業務は委託となっている。
経済効率性	3	3	車輛費、人件費及び諸経費込みの1台単価からすれば、直営よりも経費の節減となっている。
事務効率性	2	2	配送業務自体は委託されているので、年度途中の業務は、運営管理と委託料の支払などに限られている。
必 要 性	3	3	調理員の欠員分のパート化とともに、配送業務は民間委託業務の先を行くものであり、今後とも継続されるべきもの。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	2	
合 計	12 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	行政事務(業務)の民間委託が叫ばれる昨今、30数年前に時代の先取りの存在となっている委託業務であり、引き続き契約内容を検討しながら、継続されるべき事務である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

学校休業中の8月（保育園給食の配送・回収は実施）は、7台契約せず保育園分の4台契約とした。

⑧今後改善すべき点

20校ある小中学校の給食時間が、12時25分から12時40分の間に集中しており、また、1センターに統合されたこともあり、道路事情によっては、現在の9台体制では学校着に遅れが出ており、1台増の検討を要する。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

16年度途中(9月)より、9台体制となったが、引き続き8月分については、4台分の契約とする

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	学校給食会委託事業（物資・補助調理員）		
根拠法令等	学校給食法―（財）県学校給食会に準ずる	A 法令	B 条例	C 規則	<u>D その他</u> E なし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

②事務事業の内容

対象（受益者）	保育園・小中学校の児童・生徒のために
手 段	物資の調達と補助調理員の採用・管理について、学校給食会に委託することにより、
想定する成果	安全で安心かつ効率的な学校給食の実現を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
給食会採用 パート人員数	76 人	76 人	78 人
給食会採用 パート人件費	47,344,043 円	47,664,891 円	61,564,000 円
年間物資購入費	341,637,477円	341,546,446円	368,024,560円

④成果指標

①

②

成果指標名	月額パート人件費（1人当り）	1食当りの食材購入費（保育園含む）
成果指標の説明	パート人件費（年）／パート人員	年間物資購入費／年間総食数

⑤事業の進捗状況

一般会計

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	68,106円
	実績	51,238円	51,585円	—
成果指標 ②	計画	—	—	200円
	実績	199円	199円	—
事業費	事業費	69,650	69,450	78,915
	人件費	8,263	8,422	8,353
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	77,913	77,872	87,268
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	77,913	77,872	87,268

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	他市の中には、給食会を持たずに市職員が発注、支払業務をしているところもあるが、当市給食会は目的を達している。
経済効率性	1	1	給食会事務職員の処遇及びパートの時間賃金に一考の余地あり。
事務効率性	2	2	新センター開設とともに、6時間パート（3名）を3時間雇用を6人とし、保険等の事務の簡素化を図った。
必 要 性	3	3	パート雇用は、部分的であれ民間委託と考えられる。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	西部センターの廃止に伴い、通勤距離の問題もあり、パートを広報により広く募集した。
合 計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	近い将来の給食業務の運営民営化の際、10割の民間業者への委託のほか、学校給食会運営とし、現調理員の受け皿も考えられるため、現給食会事務職員の処遇も含め、組織の法人化も考慮にいれ、基盤強化が望まれる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・パート採用職場で、最後まで残っていた、夏・冬のボーナス支給を廃止し、時間給に組み込んだ。（年収比 手取り減）
- ・事務局長を16年度より、嘱託職員とした。

⑧今後改善すべき点

パートの採用初日から、先輩パートと同じ時間給を受け取れるが、3ヶ月間は△50円の見習い期間があってもよいと思われる。

⑨平成17年度予算に反映する項目

午前パートの処理部門（8時出勤）、調理部門（8時30分出勤）とも3時間半を要する状況にあり、30分ずつ増加要求をする。

⑩組織、人員に関する提言

物資の発注業務、パートの管理事務も機械化（パソコン化）された面も多く、給食会の職員自体、嘱託化でいいのではないか。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	学校給食内容充実事業			
根拠法令等	学校給食の管理と指導（県教育委員会）	A法令	B条例	C規則	<u>Dその他</u>	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

②事務事業の内容

対象（受益者）	小中学校の児童生徒の給食を作るにあたり、
手 段	献立の原案、物資の選定等に幅広い層の委員に参加、検討をしてもらうことにより、
想定する成果	栄養価を確保し、より子どもたちの口に合った給食を提供する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
原案検討会	11 回	11 回	11 回
献立委員会	11 回	11 回	11 回
物資選定委員会	11 回	11 回	11 回
給食主任者会	3 回	3 回	3 回

④成果指標

①

②

成果指標名	原案検討会等延べ参加人数	年間セレクト給食実施回数
成果指標の説明	原案検討会等延べ参加人数	年間セレクト給食実施回数

⑤事業の進捗状況 一般会計

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	5 1 6 人
	実績	5 1 6 人	5 1 6 人	—
成果指標 ②	計画	—	—	5 回
	実績	5 回	5 回	—
事業費	事業費	17	16	24
	人件費	1,653	1,684	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,670	1,700	1,695
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,670	1,700	1,695

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	調理する調理員を含めた原案検討会をはじめ、諸会議出席のメンバーからは、毎回活発な意見が飛び交う。
経済効率性	2	2	新商品紹介日を設定し、業者からの新しい食材の試食を含めた説明会を開催している。
事務効率性	2	2	年2回の給食主任者会で、諸会議の年間スケジュールを調整している。
必 要 性	2	2	子どもたちにとってよりよい献立作成を目指し、多面からの検討が必要とされる。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	各学校のP代表を物資選定委員に選任し、親としての視点で給食づくりに協力してもらっている。
合 計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	原案検討会、献立委員会、物資選定委員会、給食主任者会など、栄養士が軸となり進めているが、現場の教師、保育士、P代表の声を多く取り入れ、よりおいしい給食作りに向け、今後も実のある会議でありたい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・従来は、各月の献立表及び夏休み・冬休みの給食だよりの配布だけであったが、平成14年9月から、日々の献立のポイントとなる事らを紹介した給食カレンダーを各クラス1枚配布するようになった。
- ・セレクト給食を実施し、選べる楽しさを子どもたちに与えた。
- ・子どもたちから献立を募集し、学校給食で採用できるものを献立として取り入れた。

⑧今後改善すべき点

現在の食材ではなかなか確保できない、鉄分、カルシウム、ビタミンB2の摂取にどう取り組むかが課題である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載